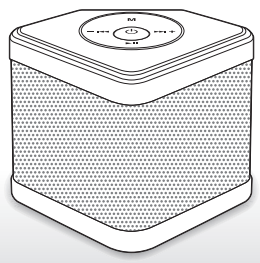
AudioComm®

ワイヤレス キュービック スピーカー W110

取扱説明書



型番：ASP-W110N-W　品番：03-3177
ASP-W110N-K　03-3178
ASP-W110N-R　03-3179

このたびは、AudioComm®ワイヤレス キュービック スピーカー W110をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

②

使い始める前に　本製品には、以下のものが含まれています。お使いの前に必ず内容をお確かめください。
●スピーカー本体　●専用充電コード　●外部音声入力コード　●保証書　●取扱説明書（本書）

免責事項

右記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
●本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
●本製品のために費やした時間及び経費
●本製品を運用した結果もたらされた損害
●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

充電式電池について

●充電式電池（リチウムポリマー電池：本製品に内蔵）は消耗品であり、正常に使用した場合でも経年により劣化します。また、電池の交換はできません。
●充電式電池はリサイクルできます。廃棄については各自治体にご相談ください。

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

△	△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 左図の場合は「感電注意」が描かれています。
○	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 左図の場合は「分解禁止」が描かれています。
●	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 左図の場合は「ACアダプターをコンセントから抜く」が描かれています。

⚠危険

接触禁止	**充電式電池（リチウムポリマー電池）が液もれしたときは、素手で触らない** ●本機には充電式電池（リチウムポリマー電池）が内蔵されています。万一液もれしているのを見つけたら、素手で触らず、販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。 ●万一液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。 ●液がからだや衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

⚠警告

22cm以上離す	**心臓ペースメーカーを使っているときは装着部位から22cm以上離す** ●電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
使用禁止	**万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに使用を中止する** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
	万一、内部に異物や水などが入った場合は、すぐに使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
接触禁止	**雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び充電コードに触れない** ●感電するおそれがあります。
禁止	**付属の充電コード以外では充電しない** ●火災や感電、機器の故障の原因となります。
	本機を分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。
禁止	**航空機内や医療機器の近くで使わない** ●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。
	火の中に入れない ●本機にはリチウムポリマー電池が内蔵されており、誤って火中に入れると、発熱、破裂、発火の原因になります。
	自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。また絶対に放置しない ●高温になると、危険を防止するためリチウムポリマー電池が充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。
	本機や充電コードの上に重いものをのせない ●本機の破損・故障や、コードが傷ついて火災・感電の原因となります。
	充電コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●コードが破損して火災・感電の原因となります。

⚠注意

水かけ禁止	**水をかけたり、浴室など湿度の高い場所に放置しない** ●故障の原因となります。
音量は小さく	**長時間、大音量で聴き続けない** ●聴力障害などの原因となることがあります。 ●はじめから音量を上げすぎないでください。
禁止	**暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない** ●破損・故障の原因となります。
	振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない ●落下してけがをする可能性があります。また、本機の破損・故障の原因となります。
	本機をシンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない ●変形・変色の原因となります。
	充電コードを熱器具に近づけない ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
禁止	**ほこりの多い場所に置かない** ●火災・感電の原因となることがあります。
	自動制御機器（自動ドアや火災報知器など）の近くで使わない ●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。
	充電コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグ部を持って抜いてください。
	日本国以外では使用しない ●本機は日本国内専用です。 ●日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。 ●海外では国によって電波使用制限が異なるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。
使用を中止する	**本機を使用中に気分が悪くなったら、ただちに使用を中止する**

お手入れのしかた

※必ず電源を切ってから行なってください。

●本機の表面が汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後に乾拭きをしてください。
●シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。

シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

Bluetooth無線技術について

Bluetoothとは

Bluetoothは、パソコンやオーディオシステム、デジタルカメラなど、比較的距離の短いデジタル機器間で通信を行なう無線技術です。USBやオーディオケーブルで2つの機器間をつなぐ必要がなく、近距離（最大約10m以内）であれば、どこにいても無線通信により音楽を楽しむことができます。

Bluetoothの対応バージョン及びプロファイル

Bluetoothは世界標準規格によって、特性・機能ごとに対応バージョンとプロファイルが規定されています。本機は、以下のバージョン及びプロファイルに対応しています。なお、本機のご利用にあたっては、通信相手となるBluetooth機器においても、以下に挙げるいずれかのプロファイルに対応している必要があります。
※Bluetooth機器側が同じプロファイルに対応していても、本機の性能・機能が制限される場合があります。

【対応バージョン】　Bluetooth標準規格 Ver.4.2
【対応プロファイル】・A2DP（高音質な音楽コンテンツを受送信するためのプロファイル）
・AVRCP（再生、一時停止などオーディオ機器を操作するためのプロファイル）
●本機はすべてのBluetooth対応機器との接続動作を保証したものではありません。

通信可能範囲について

Bluetoothの通信可能範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

本機の機器認定について

本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼ってある定格銘板を消したりはがしたりする行為は、法律により罰せられることがあります。
本製品は日本国内でのみ使用できます。

セキュリティーについて

本機はBluetooth通信時のセキュリティーとして、標準規格に準拠したセキュリティー機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社としては一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

TWS機能について

2つのスピーカーをBluetoothによりペアリングすることで、左右独立したステレオサウンドを実現する機能です。本機はこの機能に対応しております。**ただし、TWS機能を使うには、本機を2台ご用意していただく必要があります。**

使用周波数と注意事項

本製品の使用周波数帯（2.4GHz帯）では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許が必要）、特定小電力無線局（免許が不要）、及びアマチュア無線局（免許が必要）が運用されています。

1. ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室（保証書参照）にご連絡いただき、混信回避のための処置（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。
3. そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合やご不明点がございましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

医療機器の近くで使用する際は、特に注意してください

●病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えたり、事故の原因となります。
●医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使用しないでください。
●植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離して携行及び使用してください。電波によりペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
●混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性がありますので、ご使用の際は十分にご注意ください。
●医療機関内では次のことを守ってください。
・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には持ち込まない。　・病棟内では本機を使わない。
・ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
・その他、医療機関による使用制限や使用禁止指示は必ず守る。
●植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方で、自宅などでの療養中の方は、本機をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

故障かなと思ったら

●電源が入らない
・十分に充電しましたか。
●ペアリングができない
・Bluetooth機器の電源は入っていますか。
・Bluetooth機器は本機のプロファイルに対応していますか。
・Bluetooth機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。
●Bluetooth接続ができない
・本機及びBluetooth機器の電源は入っていますか。
・Bluetooth機器が他の機器と通信していませんか。
・Bluetooth機器がスリープ状態になっていませんか。
・Bluetooth機器内で本機の登録が削除されていませんか。
●音が出ない
・ペアリングは行ないましたか。
・本機またはBluetooth機器の音量が最小になっていませんか。
・Bluetooth機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。
●ノイズやエコー音がする
・Bluetooth機器との距離や音量を調整してみてください。
・無線通信を阻害する電磁波や無線LAN環境の近くで使用していませんか。
●充電できない
・本機とUSBポート、USB充電AC電源アダプター（別売）などが正しく接続されていますか。
・付属品ではない充電コードを使用していませんか。
●AUX IN（外部音声入力）時に音が出ない
・本機と外部機器が正しく接続されていますか。
・本機または外部機器の音量が最小になっていませんか。
・ファンクション切換ボタンを押して出力音源を切り換えてみてください。

保証書とアフターサービスについて

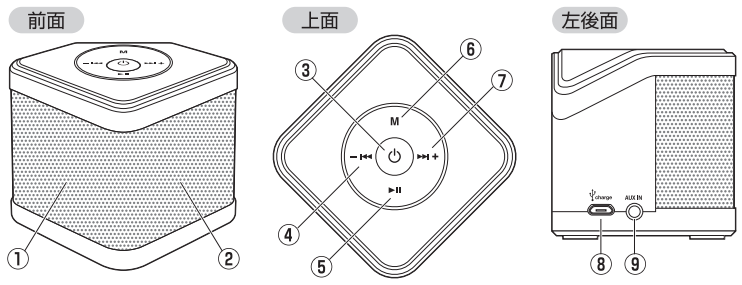
保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

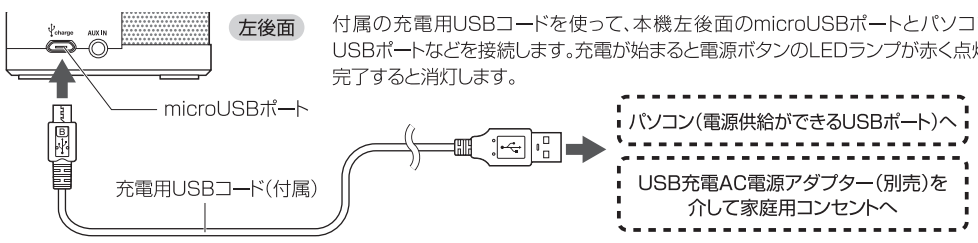
●調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
●保証期間中は：保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
●保証期間が過ぎた場合は：修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

各部の名称



①パッシブラジエーター
②スピーカー
③電源ボタン
④スキップ(⏮)／音量ーボタン
⑤再生／一時停止ボタン
⑥ファンクション切換ボタン
⑦スキップ(⏭)／音量+ボタン
⑧microUSBポート
⑨AUX IN(外部音声入力)端子

充電のしかた



付属の充電用USBコードを使って、本機左後面のmicroUSBポートとパソコンのUSBポートなどを接続します。充電が始まると電源ボタンのLEDランプが赤く点灯し、完了すると消灯します。

ヒントとご注意

- ●はじめてお使いになるときは、十分に充電してからご使用ください。
- ●本機は充電中でも使用可能ですが、充電にかかる時間が長くなります。また、充電と同時にお使いの際は、音量が多少不安定になることがありますが、故障ではありません。
- ●充電には必ず付属の充電用USBコードをご使用ください。また、付属の充電用USBコードは他の製品には使用しないでください。
- ●本機をパソコンで充電するには、電源供給ができるUSBポートに接続する必要があります。また、本機とUSBポートは直接つないでください。USBハブなどを介してつなぐと正常に充電されません。充電中にパソコンが省電力モードになると正しく充電されませんのでご注意ください。
- ●家庭用コンセントで充電する場合はUSB充電AC電源アダプター(別売)をご利用ください。
- ●残量ゼロからフル充電まで約2時間かかります。十分に充電したにも関わらず持続時間が半分程度になった場合は、電池の寿命と考えられます。
- ●許容動作環境(温度：0～40℃、湿度：20～80%　結露なしにて)を逸脱した環境下で充電した場合、充電が完了していなくてもLEDランプが消灯することがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は弊社お客様相談室にご連絡ください。
- ●長期間使わなかったときは電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。

ペアリング(初期登録)のしかた

ペアリングとは、本機を外部スピーカーとして使用する相手側のBluetooth機器(スマートフォンやBluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなど)に本機を初期登録する操作のことです。

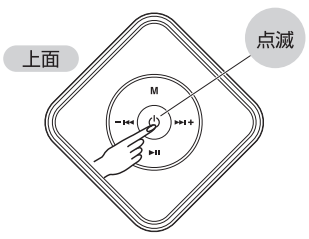
- ●はじめて使うときは必ずペアリングを行なってください。
- ●1つのスピーカーを単独で使う場合と、TWS機能を有効にする場合では、ペアリングの方法が異なりますのでご注意ください。

1 本機の電源が切れていることを確認し、手元に本機とBluetooth機器を用意します。
●両機器の間には障害物を置かず、1m以内にしてください。また、相手側のBluetooth機器は電源が入った状態にしてください。

2

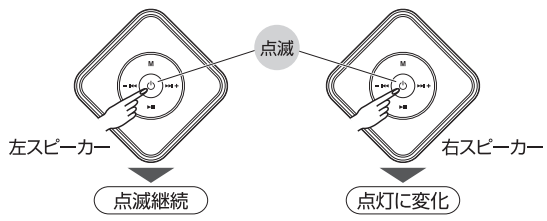
1つのスピーカーを単独で使用する場合

電源ボタンを長押しして、電源を入れます。
●電子音が流れ、上面にある各操作ボタンのLEDランプ(青)が点灯します。また、電源ボタンのLEDランプ(青)が速く点滅します。
●電源ボタンのLEDランプ(青)が速く点滅しているときは、サーチモード(Bluetooth機器を探している状態)であることを示します。



TWS機能を使う場合

①それぞれのスピーカーの電源ボタンを長押しして電源を入れます。
●電子音が流れ、LEDランプ(青)が速く点滅します。
②いずれかのスピーカーのマルチファンクション切換ボタンを短く2回続けて押します。
●電子音が流れてスピーカー間のペアリングが始まり、しばらくすると完了します(完了時にも電子音が流れます)。このとき、左スピーカーのLEDランプ(青)は点滅を続けますが、右スピーカーのLEDランプ(青)は点灯に変わります。
※2回目以降は、各スピーカーの電源ボタンを同時に長押しするだけで、しばらくすると自動接続されます。



3 Bluetooth機器側で本機を登録してください。

Bluetooth の設定画面を開く

iPhone： [設定]→[Bluetooth]	SoftBank： [設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth]
Android： [設定]→[その他の設定]→[Bluetooth] [設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth 設定]	au： [設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth 設定]
NTT docomo： [アプリ]→[設定]→[Bluetooth]	Windows Mobile： [設定]→[接続]→[Bluetooth]

上記は参考例です。機種や搭載OSのバージョンなどにより、ボタンや項目の名称、画面展開が異なります。
各機器付属の取扱説明書を参照してBluetooth機器の検索・登録画面へ順次進んでください。

本機を登録する

お使いのBluetooth機器側で本機の名称 ASP-W110N が表示されたら、それを選択して登録します。パスキーやPINコードを求められた場合は 0000 と入力してください。
※携帯電話によってはご自身で設定されたパスコードが必要な場合があります。

本機との接続が完了すると…

電子音が流れ、電源ボタンのLEDランプが点滅から点灯に変わります。その後、接続したBluetooth機器側で再生などの操作を行なってください。 ※TWS機能をご使用の場合、LEDランプはゆっくりとした点滅になります。

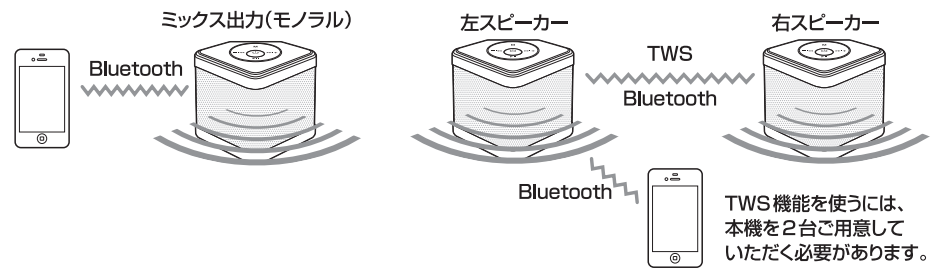
ヒントとご注意

- ●**対応プロファイル**：本機はBluetooth標準規格 Ver.4.2(プロファイル：A2DP、AVRCP)に対応しています。複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択が必要な機種もあります。その場合は、上記のいずれかを選択してください。上記以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。
- ●接続しようと思っているBluetooth機器(相手側機器)が他の周辺機器とBluetooth通信を行なっているときは、本機とのペアリング操作ができないことがあります。その際は、他機との接続を解除したうえで本機とのペアリングを行なってください。
- ●**一度登録後、ご使用中に接続がうまく行かなくなったり、正常に動作しなくなったときは**：
  - ・本機の電源を切り、しばらくしてから入れ直してみてください。また、Bluetooth機器側のBluetooth設定画面を開き、本機との接続を確認してください(接続中の状態にあるときは、いったん解除した後、もう一度接続してください)。
  - ・上記を試しても正常に戻らない場合は、Bluetooth機器側で本機の登録を削除し、改めてペアリングし直してください。
- ●**TWS機能を使った後、1つのスピーカーだけで使用するときは**：本機の電源を入れただけでは、自動接続されない場合があります。そのときはBluetooth機器側で本機の登録を削除し、改めてペアリングし直してください。

スピーカー単独使用とTWS(True Wireless Stereo)の違い

●本機のスピーカー1個を単独でBluetooth接続した場合、音声はミックス出力(モノラル)となります。

●TWSの場合：
2つのスピーカーをペアリングすることで、左右独立した音声出力を実現。広がりのあるステレオサウンドを楽しむことができます。



電源のオン／オフ

電源オン

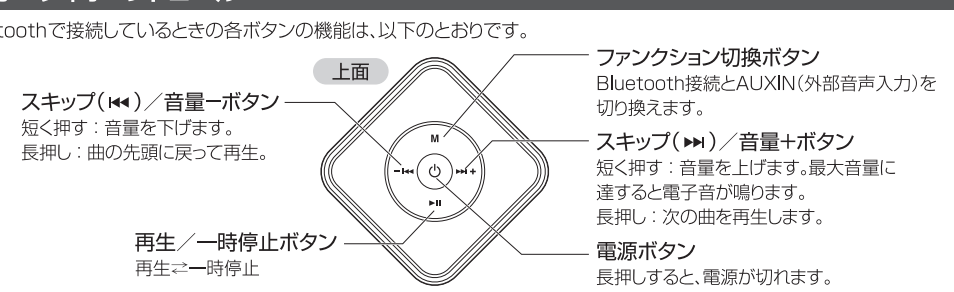
電源ボタンを長押しします。
電子音が流れ、上面にある各操作ボタンのLEDランプ(青)が点灯します。また、電源ボタンのLEDランプが速く点滅し、サーチモード(Bluetooth機器を探している状態)になります。
→はじめて使うときは、ペアリングが必要です。「ペアリング(初期登録)のしかた」を参照して操作してください。
→最後に使用したペアリング済み相手側機器の電源が入っており、Bluetooth機能も有効なときは、本機の電源を入れると自動的に接続されます(電源ボタンのLEDランプが点滅から点灯に変わります)。ただし、機種によってその都度接続操作が必要な場合は、機器付属の取扱説明書を参照し、本機との接続を確立してからお使いください。また、意図しない機器と接続されてしまう場合は、その機器の電源を切るかBluetooth機能をオフにしてから本機の電源を入れ直し、ペアリングし直してください。
※接続が完了しないときは、相手側機器の電源が入っており接続先として本機が選択されていることを確認してください。

電源オフ

電源が入っているときに電源ボタンを長押しします。
●電子音が流れた後、すべてのLEDランプが消灯し、電源が切れます。
●TWS機能で2台とも接続しているときは、片方のスピーカーの電源を切ると、もう一方の電源も切れます。

オーディオコントロール

Bluetoothで接続しているときの各ボタンの機能は、以下のとおりです。



ヒントとご注意

- ●TWS機能をご使用のときは、左右どちらのスピーカーでも片方で各操作が可能です。
- ●各ボタンを操作してから本機が反応するまで、多少時間がかかる場合があります。
- ●再生中は電源ボタンのLEDランプ(青)がゆっくり点滅します。一時停止中は同ランプが点灯に変わります。
- ●周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を与えるおそれがありますので、大きな音量で聴き続けないでください。また、大音量で使い続けると、本機の寿命が短くなります。
- ●電池残量が少なくなると、一時的にスピーカーからの音が途切れるようになります。このような状態になったら早めに充電してください。そのまま使い続けると、しばらくして電源が切れます。
- ●本機にはスマートフォンの電話着信に対応した通話機能はありません。音楽再生中に着信があると再生が中断しますので、スマートフォン側で電話に出るなどの操作をしてください。通話を切ると再生を再開します。

外部機器と有線接続して音楽を楽しむ

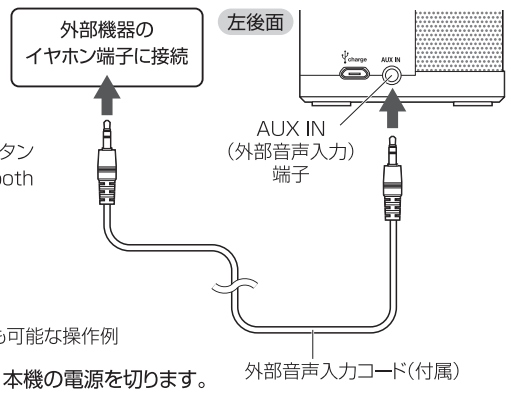
Bluetoothに対応していない外部機器(ポータブルCDプレーヤーなど)の場合は、外部音声入力コード(付属)を使って接続することにより、音楽を楽しむことができます。音声はミックス出力(モノラル)です。

1 **電源が切れた状態で本機と外部機器を接続します。**
右図を参照して正しく接続してください。

2 **本機と外部機器の電源を入れ、外部機器側で再生などの操作をします。**
スピーカーから音が出ないときは、ファンクション切換ボタンを押してください。電子音が鳴り、ファンクションがBluetooth接続からAUX IN(外部音声入力)に切り換わります。

ボタン	短く押す
再生／一時停止ボタン	消音
スキップ(⏭)／音量+ボタン	音量を上げる
スキップ(⏮)／音量ーボタン	音量を下げる

本機でも可能な操作例



3 **終了するときは外部機器側で停止操作を行なった後、本機の電源を切ります。**
接続を解除するときは外部機器側の電源も切った後に行なってください。

ご注意 Bluetooth接続に戻した際にペアリングが解除される場合がありますので、そのときは改めてペアリングし直してください。

主な仕様

電源	DC5V(USB給電：microUSB入力端子)
内蔵バッテリー	充電式リチウムポリマー電池(3.7V 400mAh)
実用最大出力	3W
再生周波数帯域	150Hz～12kHz
スピーカー	口径45mm(1.8Ω) パッシブラジエーター搭載
SN比	≧72dB
接続	電源：microUSB 外部音声入力：Φ 3.5mmステレオミニジャック
通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.4.2(TWS機能搭載)
対応プロファイル	A2DP、AVRCP
変調方式／周波数帯域	FHSS ／ 2.402～2.480GHz
最大通信距離	見通し 約10m(Class2)
充電時間	約2時間(残量ゼロからフル充電まで)
音楽再生可能時間	約3時間(50%音量)
許容動作温度／湿度	温度：0～40℃ 湿度：20~80%(結露なしにて)
外形寸法	幅61.5×高さ62×奥行61.5mm(突起物を除く)
質量	約168g
付属品	専用充電コード、外部音声入力コード、保証書、取扱説明書

※最大通信距離、充電時間、音楽再生可能時間は目安であり、使用状況によって異なります。また、充電時間は充電器の容量によって充電時間が長くなる(もしくは短くなる)場合があります。
※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。
※記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。
※取扱説明書のイラストは、実際の製品と一部異なる場合があります。